

地域でつくる精神保健

～精神病院のない国イタリア、トリエステの現場から～

1978年のバザーリア法を契機として全国の精神病院を閉鎖し、地域での精神保健サービスに全面的に移行したイタリア。バザーリア法施行から40周年を迎えた今年、イタリアでも最も地域精神保健が充実していると言われるトリエステから現役の精神科医を招聘し、現在の精神保健サービスの状況からその背景にある思想、社会のなかで精神医療がもつ意味などについてお話を聞く機会を設けました。臨床現場からの生の声を聴くことのできるまたとない機会ですので、ご関心のある皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日時: 平成30年 **11月17日(土)** 14:00～17:00

講演者: **Mario Colucci 氏**
(マリオ・コルッチ)



プロフィール

トリエステ精神保健局の精神科医。トリエステ大学の精神医学・神経心理学教室でも教鞭をとり、「社会的絆の臨床のための研究所」でも活動を行っている。精神分析にも造詣が深く、イタリアを代表する現代思想誌“aut aut”の編集委員を務める。また、イタリアにおける精神医療革命の中心人物であったフランコ・バザーリアの伝記“Franco Basaglia” (Bruno Mondadori 2001) の著者でもある。

プログラム

14:00 ～ 14:05	ご挨拶
14:05 ～ 16:00	マリオ・コルッチ氏講演
16:00 ～ 16:15	休憩
16:15 ～ 16:30	コメント 横藤田 誠 (広島大学 教授)
16:30 ～ 17:00	質疑応答

※講演はイタリア語ですが、松嶋 健 (広島大学 准教授)による通訳がつきます

**参加費無料
申込不要**

どなたでも参加できます。直接会場にお越しください

会場: 広島大学東千田未来創生センター 4F M401・402講義室

アクセス

・広島駅からお越しの場合

- 広島電鉄1号線～日赤病院前 約30分
- 広島バス (21-1) 広島港行 ～ 日赤病院前下車 約20分
- 広島バス (50) アルパーク行 ～ 日赤病院前下車 約15分

・西広島駅からお越しの場合

- 広電西広島 ～ 広島電鉄3号線 ～ 日赤病院前 約30分

